

実績報告書

静岡県 吉田町立自彊小学校	実施学年：5年 児童数：82人(3学級) 実施教科等：総合的な学習の時間 実施時間数：14時間
実施／参照プログラム	No.11/地域景観プランナーになろう






●学習のねらい・学習活動・準備品・実施場所

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ● 住民を守るために様々な人や機関が対策を講じていることがわかる。 ● 吉田町の防災施設の特徴や課題を見つけ、吉田町の防災としての視点や吉田町の景観を守るという観点を明確にして、課題を考えることができる。またその課題の解決方法を表現することができる。 ● 吉田町の防災の特徴を知り、主体的に吉田町の防災施設のよさや課題を見つけその解決に取り組もうとしている。
学習活動	<ul style="list-style-type: none"> ● 吉田町の防災対策や施設、政策について知る。 ● 普段の生活に馴染むことを視点として防災施設の見学をし、よいところと改善したいところを見つける。 ● 見つけた課題解決のためのアイデアをグループで練り合い、提案する。
準備品	<ul style="list-style-type: none"> ● クロームブック ● ワークシート ● 防災施設概要資料 ● プロジェクター
実施場所	<ul style="list-style-type: none"> ● 教室 ● 体育館 ● 北オアシスパーク ● 町内防災施設（津波避難タワー・防潮堤・吉田公園・水防センター）

●学習の流れ (適宜行を増やしてください)

	場所	概要	活動記録	児童の反応
1時間	教室	● 吉田町は津波でどんな被害があるのか、津波ハザードマップを調べることを通して、吉田町の危険な場所を知る。		○ 自分の住んでいる場所・学区は津波の被害は想定されておらず安心してた。しかし、同じ町内でも海に近いところは危険があると知り、お祭りや花火大会などでその地区に行くことも多いことから、人ごとではなく備えが必要であるとの思いをもった。
1時間	体育館	● 吉田町では津波に対してどんな対策をしているのか、役場の防災課の方の話を聞いて、吉田町の津波対策について知る。	 	○ 吉田町には津波避難タワーが12基あり、加えて歩道橋型の津波避難タワーは日本で吉田町にしかないと知った。災害に強いというよさを知り、安心であると考えた児童が多かった。 ○ 話の中で、シーガーデンシティ構想について知り、賑わいと防災についてもっと深めたいという思いをもった。
1時間	教室	● 吉田町のシーガーデンシティ構想について知り、現在の防災施設と比べることで防災施設の抱える課題について考える。		○ 津波避難タワーが近くにあると安心できるという意見があった一方、いざという時にしか使われないことがもったいないという意見もあることを知り、防災施設のあり方に課題をもった。
2時間	北オアシスパーク	● シーガーデンシティ構想について知った児童が、北オアシスパークの方から話を聞くことを通して、普段の賑わいや町に溶け込むように配慮した防災設備の工夫を知る。	 	○ 普段から使える防災設備や近くに店舗があることで、普段の生活に馴染み、賑わいがあることに気付いた。 ○ 貯水タワーには、吉田町を知ってもらえるように地図が描いてあり、普段から使えるように工夫してあることに気付いた。

	場所	概要	活動記録	児童の反応
1 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> ● 北オアシスパークの防災施設を見学した児童が、普段の賑わいや生活になじむように配慮された防災施設の工夫を整理する活動を通して、その他の吉田町の防災施設はどうなっているのか、次回の防災施設見学の視点を決める。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 北オアシスパークの近くには賑わいが生まれるためにお店があるが、他の防災施設ではどうなっているのか調べたい。 ○ 北オアシスパークでは、災害時に使えることが分かるように目につくようにしていたが、他の施設は知ってもらうためにどんな工夫をしているのか知りたい。
2 時 間	町内防災施設	<ul style="list-style-type: none"> ● 北オアシスパークの工夫を知った児童が、吉田町の防災施設（津波避難タワー・吉田公園・防潮堤）の見学を前回作成したチェック項目を確認しながら見学する活動を通して、北オアシスパークと比べて、普段の生活になじんでいるのかの視点から違いを見つける。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津波避難タワーはいざという時には安心・安全だけど、普段の生活には馴染んでいない。 ○ 北オアシスパークのように、近くに店舗が少ない。 ○ 今まで行ったことがない防災施設があったから、もっといろんな人に知ってもらって来て欲しい。
1 時 間	教室	<ul style="list-style-type: none"> ● 吉田町の防災施設を見学し、防災面での強みが分かった児童が、普段の生活になじんでいるのかという見学の視点を振り返ることを通して、防災施設の課題を明確する。 	 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 津波避難タワーには普段人が来そうもないから、人が来てくつろげるベンチがあると良い。 ○ 水防センターがあまり人に知られていないから、もっと知ってもらうために工夫をした方が良いと思う。 ○ 富士山がきれいに見える階段があったから、活かすと良い。

	場所	概要	活動記録	児童の反応
4 時 間	教室	● 吉田町の防災施設の課題をつかんだ児童が、他の地域の防災施設の例を参考にしながら課題を解決するためにどうしたらよいか、施設ややりたいことに分かれて考え、表現する。		○ 他の地域の防災施設を調べて、遊具と一体化になったものや、イルミネーションで飾ったものを見つけて、吉田町だったら、特産のレタスやキャラクターを使おうとアイデアを生み出していた。 ○ 命山に興味をもった児童は、インターネットを使って、造られた経緯や仕様などを深く調べた。
1 時 間	教室	● 防災施設の課題の解決方法を考えた児童が、吉田町役場の方に、自分たちが考えた普通の生活になじむ防災施設についてのアイデアを紹介する。	 	○ 防災課の方や、家の人に自分たちのアイデアを伝えることができ、達成感を感じていた。 ○ 他のグループの提案を聞くことで、自分たちが思いつかなかったアイデアに興味をもっていた。

●児童の作品

◎防災面だけでなく、普通の生活に馴染み賑わいが生まれる防災施設をデザインし提案した。



景色が楽しめるように望遠鏡を付れたり、遊べるように滑り台を付けたりした津波避難タワー



レタスの形の空洞に、ベンチや自動販売機を設置して、津波を防ぐアイデア



店舗や畑を作ることで、命山が賑わうアイデア



命山のよさを広めるためのポスター

●先生の声

【実施にあたり工夫した点・苦労した点】

- 人工物である防災施設と、景観を結び付けることが難しかったが、まちづくりというキーワードで共通点を見つけ、単元全体を組み立てていた。
- 役場の防災課の方の話から、防災施設を災害時に役に立つだけでなく、普段の生活に賑わいをもたせるまちづくりの思いに触れることで、防災面だけではなく、普段の生活でも使え、馴染む、賑わうという視点を得ることができた。また、その視点をもって北オアシスパークを見学することで、防災公園として機能している公園の良さを感じ、他の防災施設の見学にも活かすことができた。
- 防災施設の見学を、まちづくりの視点から見学することで、児童が課題を見つけ、解決に向けてのアイデアを考えることができた。
- 普段の生活に馴染み、賑わいのある施設にするための改良案を防災課の方に聞いてもらい、課題解決の提案をすることができ、達成感を得ることができた。

【児童の反応】

- 吉田町の防災について深く知ることで、安全であれば良いだけではなく、賑わいも大切であるとの思いをもった。
- 吉田町の防災施設は命を守ってくれるというよさだけではなく、賑わいも生まれるようにも作られている施設もあるので、もっといろいろな人に知って欲しいと、そのよさをアピールしたいという思いをもった。
- 防災の面からではなく、まちづくりの面から防災施設を考えることで、普段の生活に馴染み、賑わいが生まれるためにどうすればよいかという課題を見つけ、アイデアを生み出すことができた。
- 吉田町の防災への取り組みをまちづくりと合わせて知ることで、自分が住んでいる町の魅力に気づき、人に伝えたいという思いに向かった。

【教師の変化】

- 防災面での安全なまちづくりだけではなく、普段の生活にも配慮され建設されている防災施設やそれに対する思いを深く知り、吉田町の素晴らしさを感じるすることができた。